

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

ざ河川に近づく必要はない。町会単位にこだわらず地域実情に合わせ、子ども・高齢者・障がい者を考慮したきめ細かいルート・避難場所を早急に再検討する必要があるかどうか。

【危機管理】地域の浸水想定や交通機関等の移動手段、垂直避難が可能な建物の数を踏まえ、安全な避難時間を確保できるよう、早めに避難勧告等の発令を実施するとともに、地域ごとの避難ルート等を盛り込む地区防災計画の普及に努めていく。

【問】区は都営住宅やUR住宅の管理者である都や都市再生機構と災害時の避難等に関する協定を結んでいるものの、区民にはその協定が認知されていない。どの範囲の人々に建物のどの部分を提供できるのか、具体化の協議は進んでいるか。特に河川

足立区議会公明党

活力ある足立区の未来と希望あふれるまちづくり

公明党 長井 まさのり 議員



子どもたちの未来へ決意を問う

【問】「未来へつなぐ あだちプロジェクト」として「子どもの貧困対策」が本格的にスタートする。子どもたちの未来に向け、区長の決意を伺う。

【区長】策定した「未来へつなぐ あだちプロジェクト」はあくまでも第一歩である。区が活力にあふれ前進し続けるためにも、多くの区内外の皆さまに、施策の重要性、緊急性を理解い

に近い地域から速やかに決めていく必要があり、緊急時に誤解が生じないように、都営住宅、UR住宅の住民にも周知が必要と考えるかどうか。

【危機管理】どの範囲の人々にどの部分を割り当てるかといった詳細な取り決めについては、避難する側と受け入れ側が話し合うことも必要であり、今後その進め方について検討していく。その際、河川に近い施設から取り組むよう配慮し、居住者の方々への説明と協力をお願いについても含めて検討していく。



止に有効と評価している。本年4月には、防犯まちづくり推進地区を申請している町会・自治会に拡大し、さらに効果を検証した上で、全区展開を視野に入れた早期実施に向けて、開発者や販売業者等との調整のほか補助制度設計も詰めていく。



地域医療充実のため、運営協議会の設置と区民要望の反映を

【問】区・東京女子医科大学東医療センター・区三師会等による運営協議会等を設置し、東医療センターが充実した診療科目を備えた医療機関となるよう推進すべきかどうか。

また、その際は、区民要望の高い女性専門外来や産前産後医療センター、女性健康相談センター等も整備すべきかどうか。

【政策経営】運営協議会は、地域医療の充実を図る上で必要な仕組みと考えており、設置に向けた検討を進めていく。

また、女性専門外来等の病院機能、診療科目への要望は、東京女子医大や医師会等と協議、調整して進めていく。

六町駅前区有地の活用について
【問】六町土地地区画整理審議会から要望書が提出され、駅前地区民事務所を移転するとともに、子育て支援施設の併設が求められている。地元地域の声を踏ま

え、今後の公共施設等総合管理計画との関連性はどうか。区が描くビジョンはあるのか。

【資産管理】駅前区有地の活用は、周辺町会・自治会の意向把握も含め、広く地域住民の声を把握し、活用方針を定めていく。その際、区の政策的課題解消や施設利用者の利便性向上等も視野に入れ、公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、地域の活性化等に繋がる施設機能の選定を行っていく。

交通環境の整備で課題解消を

【問】花畑エリアの課題の一つに、地域内に残る交通空白地域の解消がある。今後、大学を核とした竹ノ塚駅や六町駅等からのバス路線網の再編やターミナル機能の充実等、交通環境の整備を推進すべきかどうか。

【都市建設】文教大学進出に伴う交通環境の整備は、大学の施設整備計画との整合を図り、大学構内におけるターミナル機能確保の可能性を協議していく。合わせてバス事業者と路線再編に向けた協議を進めていく。

学校トイレの環境整備を求む

【問】学校に在る間、和式トイレの使用を我慢して体調まで崩す事例も聞く。子どもの健康面からも、洋式化率が低い学校には、優先的に計画を立て、前倒しで洋式化、床面のドライ化等、環境整備を強く要望するかどうか。その際は区内業者優先で工事を発注すべきかどうか。

【教育長】平成28年度予算編成で、トイレ改修に特化した計画を策定した。平成28年度より洋便器化をはじめとする詳細設計に着手し、平成29年度より工事

に取り組み、遅くとも平成35年度までにすべての小・中学校で整備を完了する予定で進めてい

高齢者が安心して暮らせる足立区政を目指して!

公明党 さの 智恵子 議員



高齢者の居場所と活躍の場を

【問】①仕事をリタイアして地域に帰ってくる方や高齢者のために区内で利用できるサークルやサロンをまとめた「居場所づくりマップ」を作成し、活動内容と併せて周知してはどうか。

【問】区は、東武鉄道・イオンと勉強会を行ったと聞く。その内容と進捗状況を伺う。

②介護現場でも、就労を希望する高齢者が、生き生きと働けるよう、一定程度の賃金を得られるようにしてはどうか。

また、東西自由通路は賑わい創出による地上の活用も考えられる。西新井駅の魅力を発信できる駅前広場と思うかどうか。



【福祉】①「地域支え合い推進員」が地域資源を把握・創出し、居場所や活動内容等も記載されたマップ等も用いて、活躍の場

【市街地】東西自由通路の実現については、地上及び地下の両面から検討を行い、駅の顔づくりに取り組んでいくことを確認した。4月頃に駅を中心とした交通量調査を実施し、年度末までに方向性を定めていく。エスカレーター等のバリアフリー整備も引き続き検討していく。

子供・子育て等に対する様々な支援策を充実!!

公明党 小泉 ひろし 議員



戦略的な保育施設の整備を

【問】①保育事業者の募集を行ってきた小台地域等には応募がない状況である。鉄道高架下等あらゆる可能性を調査し、企業

等にも積極的に働きかけ、戦略的に施設整備すべきかどうか。②都は福祉貢献型建物の整備促進のため「官民連携福祉貢献インフラファンド」を創設する。